

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 **新**ソフトピアジャパン・アネックス空気調和機更新工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 I T利用促進室 I T拠点活用推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3051)

E-mail: c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,200 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	13,200	0	0	0	0	0	0	0	13,200
決定額	13,200	0	0	0	0	0	0	11,800	1,400

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ソフトピアジャパン・アネックスのビルマルチ空調設備に使用されている冷媒はフロンR22であるが、令和2年度に生産が停止されたため、冷媒ガスの入手が難しくビルマルチ空調設備の修理が困難となっている。また、建設から23年以上が経過しており経年劣化も進んでいるため、ビルマルチ空調設備の更新が急務となっている。

更新工事には、入居施設利用中の設備更新となることに加えて、付随する建築工事及び電気工事には多くの課題 (施工の難易度、大垣市との調整、工期短縮) があるため、実施設計にて、それらの施工上の課題に対する解決策を反映させる必要がある。

(2) 事業内容

ソフトピアジャパン・アネックスのビルマルチ空調設備を更新する実施設計を行う。

3 事業費の積算内訳

(千円)

	R 4	R 5～6	計
工事請負費	0	277,200	277,200
委託料(実施設計)	13,200	0	13,200
合計	13,200	277,200	290,400

決定額の考え方

財源に県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

1 モノをつくって、地域外からお金を稼ぐ地域をつくる

◆ソフトピアジャパンのIT関連企業の集積や優れた情報基盤を活用し、地域産業の高度化を担う産業人材を育成・供給し、地元のIT企業の競争力を強化する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 老朽化しているソフトピアジャパン・アネックスの空調設備の改修を行うことで、施設を長期的にまた安定的に維持管理できる体制をつくる。
 なお、安心して安全な施設を利用できることがIT関連企業の集積・入居率の向上や、施設の貸出利用に繋がる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	
					達成率	
ソフトピア ジャパンセンタ ー入居施設入 居率 [課内指標]	センタービル、 アネックス及び ドリーム・コア 62.7%(H17)	75.0% (R3.4.1 現在)	80.0% (R4.4.1 時点)	80.0% (R5.4.1 時点)	80.0% (R7.4.1 時点)	93.8%
	ワークショップ24 54.1%(H25.3)					

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・新規事業のため該当なし
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	入居者及び利用者に不利益を与えないよう、不断の施設維持が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) —	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	中長期保全計画を作成し、また、指定管理者と連携を密にとり、優先順位の高く必要な修繕を実施し、経費の節減を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の耐用年数を延ばすためにも、引き続き予防保全を含む施設の維持修繕を行っていく。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設利用者等が安心して安全な施設を利用できるよう施設維持に努める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	